

議 平生町 議会だより

第 120 号

2011年7月22日

発行 平生町議会
〒742-1195
山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
発行責任者 福田 洋明
編集 議会広報広聴調査特別委員会



全国大会出場を決めた平生軟式野球スポーツ少年団

6 月
議会報告
いっぱん質問

臨時会・議会構成	2ページ
いっぱん質問	4ページ
定例会	7ページ
意見書	8ページ
議会の流れ	9ページ

臨時議会



岩本ひろ子 副議長



福田洋明 議長

新体制がスタート

議長 福田洋明
副議長 岩本ひろ子

4月の選挙で当選した新しい議員による初めての議会が6月1日に行われ、議会構成が決まりました。
議長には福田洋明議員、副議長には岩本ひろ子議員が選出されました。各常任委員会の委員長、副委員長および委員の選任、さらに、一部事務組合議員の選出も行われました。

就任の挨拶

東日本大震災における被災者の皆様へのお見舞いとともに、被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

さて、平生町議会議員一般選挙後の初議会においてご選任をいただき、このたび議長・副議長として就任いたしました。

大震災の影響も含めて、景気の悪化が続く中におきまして、地方自治体を取り巻く環境は、ますます厳しさを増してきており、議会

が果たさなければならぬ役割の重さをひしひしと感じております。

今後とも、平生町の住民福祉の向上に努めるとともに、危機管理を徹底し、住民の皆さんが安全で安心して暮らせるまちづくりのために、一生懸命、取り組んでいく覚悟であります。

公正で円満な議会運営が図れるように、議員の皆さんとともに、誠心誠意努力してまいりますので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。





産業文教常任委員会

久保 俊一
岩本ひろ子
副委員長 平岡 正一
委員 柳井 靖雄
委員 松本 武士
委員 柳井 靖雄
委員 久保 俊一



総務厚生常任委員会

中川 裕之
福田 洋明
委員 河藤 泰明
副委員長 細田留美子
委員 河内山宏充
委員 村中 仁司

平成23年度第4回臨時議会は、選挙後初めての議会なので、地方自治法の規定により最年長の 洲上 正博 議長として開かれました。

開会后、議長選挙が行われ、6票1名、2票1名、1票4名で、6票を獲得した福田議員が当選しました。

続いて行われた副議長選挙は、無効投票2票、6票1名、3票1名、1票1名で6票獲得した岩本議員が当選しました。



議会運営委員会

洲上 正博
河藤 泰明
副委員長 河内山宏充
委員 柳井 靖雄
委員 平岡 正一
委員 中川 裕之

各常任委員会の委員長、副委員長および委員の選任、さらに、一部事務組合議員の選出も行われました。

承認1件を全会一致で可決

承認第1号平生町税賦課徴収条例の一部を改正する条例の専決処分事項の承認は、4月27日に地方税法等の一部を改正する法律が公布・施行される事に伴い、緊急に執行を要するため当日付で専決処分されたもので、全会一致で承認しました。

一部事務組合	田布施・平生水道企業団	柳井 靖雄	河藤 泰明	久保 俊一
	熊南総合事務組合	岩本ひろ子	中川 裕之	松本 武士
	周東環境衛生組合	洲上 正博	村中 仁司	
	柳井地区広域消防組合	福田 洋明		
	柳井地域広域水道企業団	柳井 靖雄		
監査委員	平岡 正一			
農業委員	河内山宏充 細田留美子			



が聞きたい



瀧上正博 議員

質 上関原発建設の町長の見解は

答 重大な関心を持って注視していく

質 福島原発は事故発生から3ヶ月がたった。時間がたつにつれ原発事故の悲惨な実態はいつそう深刻になっている。

福島原発の事故を受けて、町長は原発に対する認識は変わったかどうかを聞く。

もう一点、町長は町民の安心・安全を考えた、町のトップとしての見解を発信すべき時であると思うかどうか。



建設予定地（上関町 田ノ浦）

答 町長

これまでの想定や指針、対策を見直す必要があると認識している。必要な場合は、しっかり物を言っていく。

現時点では不透明な部分が多いので、情報収集に努め、議会での議論はもちろん、県の判断、上関町の意向、事業者の動向など全体を見極めて対処していく事が重要だ。

今回の原子力災害に対して住民の安全確保と事態の早期終息を願うこれにつぎる。

その他の質問

学校耐震化について

質 商業振興の取り組みについて

答 商工会との連携を大事にしていく



岩本ひろ子 議員



開店後1年経過した町内大型店

質

商業振興においての行政の取り組みを問う

① 第一次産業の振興には、きめ細かい施策があり、効果をあげているが、商業についてはこれといった施策がない。

② 町の商業企業がなくなると、雇用、財源の確保が難しく町の活力もなくなる、これらの対処はどう考えるか。

③ 大型店の閉店後一年が経過、この現状をどのように考えるか。

答 町長

① 青年部を含めた商工会をバックアップし、連携を大事にしていく。

② 町としても、できる支援をしていくとともに、いろいろな情報も含め、県との連携も大事にしながら、取り組みを進めていきたい。

③ メガマート平生店が閉店して一年たち、関係各所とも協議し、次のテナントを探している段階だ。

その他の質問

地球温暖化対策について



松本武士 議員

質 福島原発事故後の上関原発に対する対応について

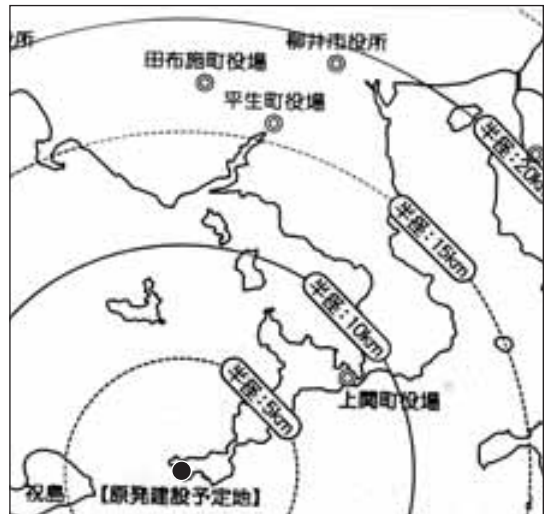
答 国の意思決定が優先する

質

①上関原発に対する町長の今後の対応について尋ねる。

②国の「原子力事故の防災対策重点地域（EPZ）」を国は現在10キロ圏内としているが、平生町は上関原発予定地より20キロ圏内にある。国に20キロ圏内に拡大し、同圏内の市町も「建設決定権」を持てるよう要望してはどうか。

③「電源立地地域交付金」は、震災後で支給されるのか。



予定地からの距離

答 町長

①今後のエネルギー政策や地元、上関町の動向など事態をしっかりと冷静に見極め対応を決定する。

②国も見直しを検討している。

この方針を踏まえ、必要であれば、町として申し上げていく。

③交付金制度自体がどうなっていくのか、白紙の状況にある。

その他の質問

自然エネルギー推進・省エネについて

質 町の特성에合った防災計画と訓練を

答 自主防災組織の充実を計る



平岡正一 議員



曾根地区防災組織の消火訓練の様子

質

大震災を受けて防災計画の見直しが必要とされている。

国や県の方針は大きな指針になるが、平生町の歴史や地理的な特性に合うものが必要と思う。

災害弱者対策の計画をつくり、日常から訓練をする事が大切だ。

避難所での弱者対応も状況に応じた計画が必要と思うがどうか。

答 町長

国や県も方針の見直しの動きもある。

当町もゼロメートル地帯など地理的条件や歴史的経緯も踏まえてデータを生かしていくことが大事だ。

地域でお互い支え合い、助け合う自主防災組織の設立に力を入れている。

今後は自主防災組織が機能するように取り組んでいく。

その他の質問

- ・大型商業施設の閉店対策
- ・放置車両の対策
- ・わかりやすい情報提供を求める
- ・迅速な事務執行について

質 増える高齢者への結核対策を聞く

答 各種健康相談・検診等をPRする



細田留美子 議員

質

結核は現在でも、毎年2500人以上が発症する国内最大の感染症である。

薬の効かない菌も出てきた。「高齢者が多い」「集団感染が増加」「若い人にも増加」などの特徴がある。

結核が猛威をふるっていた時代に感染し、ひそんでいた菌が高齢による体力低下で発病のケースが全国では増えている。

町内で65歳以上の受診率が約10%と低い対策はしているか。



健康福祉課

答 町長

昔は、国民病と言われたが、患者数が激減し、町内における新規登録者は、三年で一人と低い状況である。

健康福祉課長

65歳以上の定期健康診断は、4月に町内全戸にチラシを配布し、6月には、お知らせ版で再度検診のお知らせをしている。

結核は、早期発見が大事なので検診の受診等の向上が重要であり、しっかりと啓発をし、各種健康相談や検診等をしっかりとPRしていく。

その他の質問

東日本大震災について

質 通学路の安全確保について問う

答 常日ごろから取り組んでいる



河藤泰明 議員

質

通学中、特に大野南長迫線の安全確保への取り組みはどうか。

また、ゲリラ豪雨や川の増水などの通学時の水害対策はどうか？

ポランティアの方が活動・参加しやすい環境整備は考えられないか。

通学路に限らず、各事業は関係する課が連携をしているが、住民には分かりにくい。

目に見える形での取り組みはできないか。

その他の質問

選挙公報の発行について

答 教育長

年度初めに、通学路の地図を提出してもらい、その通学路の実態や、危険箇所を自分達の目で見て、安全確保を図っている。

また通学路のアンケートにて危険箇所等の把握に努めている。

大雨等で危険が予想される時は、現地で下校指導している。

学校運営協議会に多くの地域の方々が参画されているので、通学路についてもご意見をいただいている。

安全確保は、常に取り組みがされている。



あいさつ運動 (平生中学校)



河内山宏充 議員

質 佐合島の振興対策計画は

答 整備計画・救急救命等をひきつづき検討する

質 佐合島の振興対策、おもに環境整備の計画について尋ねる。

コンクリート舗装された町道は、かなり劣化凹凸な路面である。防波堤は低く、北風が吹くと潮をかぶる。島の高齢化を考えると移動することに負担が大きい。

緊急救助体制も船しかなく、ヘリコプターの離発着が可能な施設を整備するのではなかったのか。

佐合島の振興対策計画について尋ねる。



佐合島全景

答 町長

町道や防波堤は、50年経過しており、応急的な路面補修や陥没の対応はしている。

町道は早い時期に検討、防波堤は、大変な金額なので、十分検討したい。

ヘリポートについては、平成15年に現地を調査しているが、恒久的な施設ではなく、緊急時の臨時発着等が可能な検討する。

佐合の救急救命は、渡船も運航時間中は船長の判断、夜間の場合は、ひらお丸で対応している。

その他の質問

地震・津波に対する計画は

副町長、監査委員の選任に同意

副町長 佐竹秀道
監査委員 平岡正一



平岡正一 監査委員

議会選出の監査委員の任期は平成23年5月31日までとなっております。引き続き、平岡正一議員を選任することに同意しました。



佐竹秀道 副町長

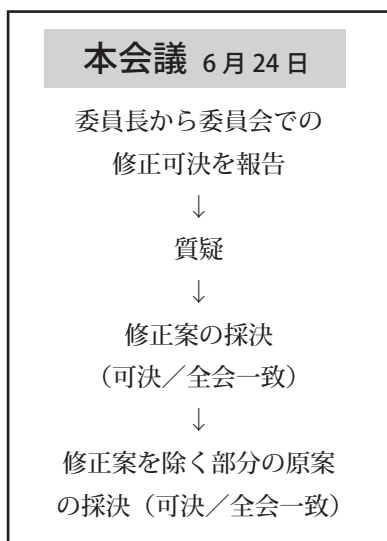
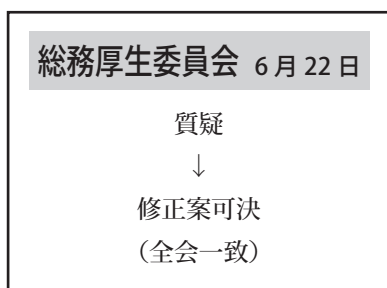
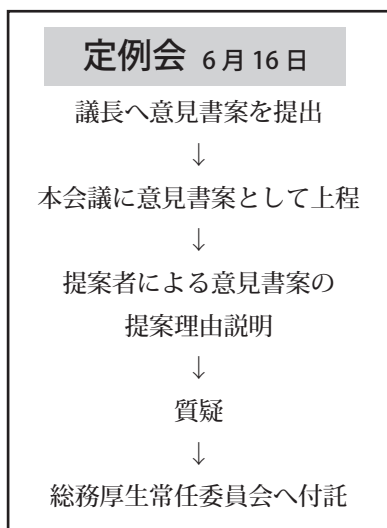
平生町副町長の任期は平成23年6月30日に任期満了となる。佐竹秀道氏を再任することに同意しました。

平成23年第5回平生町議会定例会が6月16日から6月24日までの9日間の日程で開かれました。同意2件提出され、全員一致で同意しました。

6月
定例会

原子力発電所建設計画に関する意見書を 全会一致で可決

本意見書
可決までの流れ



本会議初日の16日に、議員2名から、「原子力発電所計画に関する意見書」が議長に提出されました。

議案として追加され、説明・質疑の後、所管の総務厚生常任委員会へ付託しました。

22日に開かれた総務厚生常任委員会において審議・修正され、全会一致で可決しました。

24日の本会議において委員長報告をし、議員12人全員、全会一致で可決しました。

意見書は、すみやかに国及び県へ郵送しました。

原子力発電所建設計画に関する意見書

今年3月11日に発生した、東日本大震災と津波に伴う福島第一原子力発電所の事故により、周辺自治体の住民にもたらした被害は筆舌では語りつくせないものです。

これまでもスリーマイルやチェルノブイリ、東海村のJCO臨界事故などの例に見られるように、原子力発電所での「思いもよらない」人的な操作ミスで、重大な事故が引き起こされ、従事者や広範囲の住民や環境に甚大な被害をもたらされてきた。

福島原発でも、「日本の原発は絶対に安全である」との前提で、建設され運転されてきたために、事故発生時の初動や事故対応、周辺住民の避難誘導など、対処法がまったく確立されていなかったために、事態収束の見通しはまだまだ不透明となっている。

この周辺には、岩国断層帯や周防灘断層群などが存在し、地震予知連絡会が伊予灘及び日向灘周辺に設定していた「特定観測地域」に上関も含まれている。東海地震とともに想定されている四国沖の南海地震が発生すれば、伊予灘から津波が押し寄せるといった事態も十分考えなければならない。

平生町は、上関原発建設予定地からすべてが20キロ圏内となっており、事故が発生すれば、即、避難区域となり町民は多大な被害をこうむることになる。

よって、日本国政府や山口県に次のことを強く求める。

1. 安全性が確立されていない新設及び増設計画をすべて凍結すること。
2. 国際基準や福島原発事故の教訓を踏まえ、新しい安全基準をつくり、既存の原発の総点検を行うこと。
3. 国策で進めてきた原子力発電の電力政策を見直し、自然再生エネルギー等へ計画的に転換していくこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年6月24日

山口県平生町議会

定例会

本会議

- 開 会** 議長の開会宣言で議会活動が始まります。
- 提案説明** 町長及び議案を提出した議員が議案の提出理由と内容を説明します。
- 質 疑** 議案の不明確な点について、議員が提案者に説明を求めます。
- 一 般 質 問** 発言を通告した議員が、町政全般について質問し、執行部の答弁を求めます。
- 委員会付託** 議案の常設の2つの常任委員会に付託します。



委員会

総務厚生常任委員会

総務課・総合政策課・税務課・町民課・健康福祉課・佐賀出張所が所管する事業について調査・審査します。

閉会中の継続調査案件

1. 地域振興について
2. 行財政改革について
3. 市町合併について
4. 税の徴収対策について
5. まちづくりについて
6. 高齢者・障害者医療福祉について
7. 少子化対策について
8. 環境問題について

産業文教常任委員会

経済課・建設課・教育委員会が所管する事業について調査・審査します。

閉会中の継続調査案件

1. 農林水産業振興について
2. 観光振興について
3. 公共施設の維持管理について
4. 学力の向上について
5. 学校施設における児童生徒の安全確保について
6. 公民館活動の充実について



本会議

- 委員長報告** 各委員長が委員会での調査の経緯や結果を報告します。
- 質疑・討論** 委員長報告について質疑が行われた後、議案について、賛成・反対の意見が述べられます。
- 表 決** 議案について、賛成・反対の議決を行います。
- 閉 会** 議長の閉会宣言で議会活動が終了します。

議会について

近くて遠くの存在である議会について紹介したいと思います。

左の図は「定例会」の流れです。この他に必要がある場合に招集する「臨時会」があります。

て意見調整を行う場としての委員会を「議会運営委員会」といい、議会の前や必要に応じて開催されます。

一部事務組合

字の通り、事務の一部を関係市町が共同で処理するために設立された独立した組合です。

組合名

(構成市町)

田布施・平生水道企業団

(平生町・田布施町)

● 上水道事業

田布施川と井戸から取水し、浄水した水道水と、柳井広域水道企業団からの用水を各家庭に届けています。

熊南総合事務組合

(平生町・田布施町)

● 渡船事業

佐賀・佐合島・馬島・別府航路を運行しています。

● 斎苑の維持管理事業

田布施・平生合同斎苑の維持管理をしています。

● ゴミ処理事業

資源活用センターで不燃物・資源ゴミ等の処理をしています。

周東環境衛生組合

(平生町・田布施町・上

関町・柳井市・岩国市)

● し尿処理事業

バキューム車等で集められたし尿や汚泥を処理しています。

● ゴミ処理事業

清掃センターで可燃ゴミの処理をしています。

柳井地区広域消防組合

(平生町・上関町・周防

大島町・柳井市)

● 消防・救急

消防法に係る許認可や指導。火災や災害時の緊急出動やケガ人、病人への救急出動などを行っています。

柳井地域広域水道企業団

(平生町・田布施町・上

関町・周防大島町・柳

井市・岩国市)

弥栄ダムから送られた水を日積浄水場で浄化し、各自治体へ配水しています。

議会広報広聴調査特別委員会

よろしくお願ひします

私たちが今後2年間
議会だよりをお届けします。



松本 武士
村中 仁司
副委員長
岩本ひろ子
委員長
河藤 泰明
中川 裕之
久保 俊一

新人議員4人を含んだ
私達6人が今回からの
「議会だより」を担当し
ます。
気軽に手に取ってもら
い、読んでもらえる広報

づくりをめざして頑張り
ます。
投稿コーナーなど、み
なさんご意見をお待ち
しています。

議会の動き

(H23・3/9)		4月28日	議会広報広聴調 査特別委員会
(H23・6/10)		5月6日	郡定例議長・局 長会議
3月9日	第2回定例会	5月10日	平成22年度山口 県離島振興市町 議会議長会監査 町戦没者追悼式
3月9日	議会広報広聴調 査特別委員会	5月11日	議会広報広聴調 査特別委員会
3月17日	議会運営委員会	5月17日	第36回町村議会 議長研修会
3月17日	議会全員協議会	5月18日	議会広報広聴調 査特別委員会
3月25日	平成23年第1回 熊南総合事務組 合議会	5月20日	議員懇談会
4月27日	第3回臨時会	6月1日	第4回臨時会
		6月3日	議会運営委員会
		6月7日	議会全員協議会

原稿募集

議会のこと、我が町自慢、
つれづれに思うこと何でも結構です。

- ・ 字数 400字以内
- ・ 締切日 平成23年9月30日
- ・ 提出先 平生町役場議会事務局 議会広報
担当者

紙面の都合で一部変更することもあります。ご了承
承願います。掲載文には薄謝を差しあげます。

編集後記

このたび、平生軟式
野球スポーツ少年団が
山口大会を制し、全国
への切符を手にしまし
た。

そんな頑張る子供た
ちに刺激を受け、最近
ポジフィットなるもの
をはじめてみました。

これは、「前向きに」
「自分らしく」「楽しみ
ながら」ダンスと、ヨ
ガ・ピラティスを取り
入れたフィットネスで
す。

なぜか、選挙中や議
会の会期中に増える脂
肪を退治したいと思ひ
ます。

広報委員の構成も変
わったことですし「議
会だより」も、新メン
バーで一步踏み出し、
親しみやすい誌面作り
を目指していきます。

河藤泰明